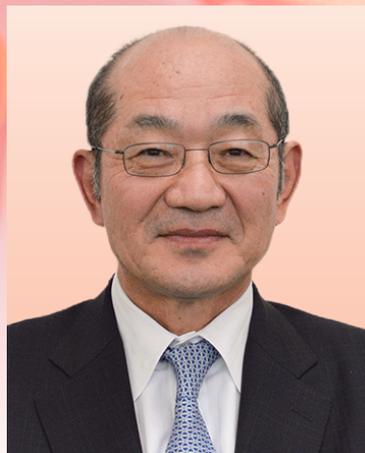


# 年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 藤澤正義



新年明けましておめでとうございます。令和3年の年頭にあたり、皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

去年は、9月に本県出身の菅義偉氏が内閣総理大臣に就するという誠に喜ばしい出来事がありましたが、一方で、新型コロナウイルス感染症という未知の脅威が世界中で猛威を振るい、先の見えない不安の中で国内外の経済は大きく混乱しました。本県の事業者にとっても、コロナ禍の直撃による売上減少や雇用維持等に苦慮しながらも、国の持続化給付金や雇用調整助成金の特例措置等に加え、各自治体による金融施策やクーポン券発行等の経済回復に向けた様々な支援策を活用して耐え凌いだ1年となりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大による人との接触を避ける新たな生活様式の定着は、在宅勤務等働き方を多様化し、Web会議、キャッシュレス、ロボット等非接触技術の普及を加速した他、医療、教育など様々な分野においても、今までとは異なる価値観とニーズに基づく新たな市場やビジネスを登場させるきっかけとなりました。

今後、事業者が変化する市場のニーズに対応して行くためには、従来の方法等を今一度点検し、各事業者が持つ強みや経営資源を持ち寄り、不足する部分は互いに補完し合いながら、共通の課題に共同で取り組むという企業間連携の強化が益々重要になるものと考えます。

本会は、「強い組合・強い企業づくり」を推進するため県内中小企業の連携支援を柱に活動を展開しておりますが、このコロナ禍においては、これまで蓄積したノウハウを生かし、事業者ニーズを吸い上げながらタイムリーな情報と効果的な支援を提供するという本会の役割を十分に発揮して行くとともに、支援機関として価値のある活動を継続して行くため、事業者に寄り添った手厚い支援やコーディネートができる人材の育成に力を入れて参ります。

今年は丑年です。牛は古くから農業において地道に人々を助けてくれる大切な生き物でした。その様子から一説では、丑年は「忍耐。これから発展する前触れ」の年といわれています。昨年末、英国、米国において新型コロナワクチン接種が開始され、感染症収束に向けた一筋の光がようやく見え始めたものの、耐える時期はもう少し続くと思われます。また、今年は東日本大震災発生の被害から丸10年を迎える節目の年でもあります。大震災からの復興そしてコロナ禍の克服に向けた地道な取組を皆様と一緒に続けることで、新たな発展に繋がる価値ある年にしたいと願っております。

最後になりますが、皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 年頭所感

秋田県知事

佐竹 敬久



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的規模で流行し、県内経済も大きな影響を受けましたが、そうした中でも、菅義偉氏が本県出身者として初めて内閣総理大臣に就任するとともに、ブラウブリッツ秋田がリーグ優勝・J2昇格を決めるなど、県民に勇気と希望をもたらす明るい話題もありました。

県政の推進においては、感染症の拡大防止に向けた対策を講じる一方で、制度融資の拡充による資金繰り支援や、県民向けプレミアム宿泊券・飲食券の発行などを通じて、県内経済の早期回復に取り組んでまいりました。

また、懸案の人口減少問題では、これまでの取組の成果に加え、感染症による県外転出の抑制傾向などから直近1年の社会減が19年ぶりに3千人を割り込みました。農業では、県産米の新品種の名称が「サキホコレ」に決定し、初出荷に向けた準備が順調に進んでいるほか、エネルギー関連では、洋上風力発電や地熱発電の取組が進捗するなど、本県のポテンシャルを生かした事業が動き出しております。

今後は、地方回帰の流れや温暖化防止に向けた動きなど、時代の要請を追い風とし得る施策の展開を図っていくことが重要となることから、引き続き感染拡大防止に全力で取り組むとともに、デジタル・トランスフォーメーションの推進や首都圏等からの人材誘致、本県の強みを生かした再生可能エネルギー関連産業の振興などに取り組む、最終年度を迎える「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」の着実な推進を図ってまいりたいと考えております。

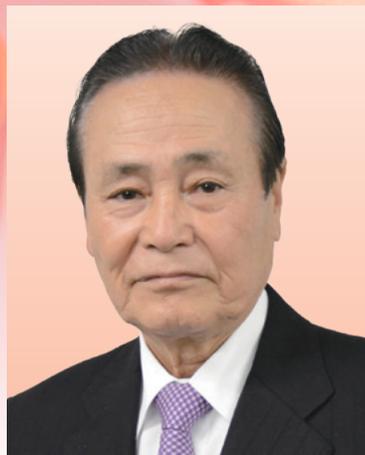
秋田県中小企業団体中央会の皆様におかれましては、本県中小企業のおきパートナーとして、また、地域経済活性化の推進役として一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、世界に安寧が訪れることを切に望み、新しい年が皆様にとって希望に満ちた飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

# 年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和3年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、全世界を通じて新型コロナウイルス感染症という未知のウイルスの発生に苦悩する1年となりました。加えて、豪雨災害の発生、人材不足、事業承継問題、働き方改革への対応等も相俟って、中小・小規模事業者は、事業存続の危機的状態に直面しました。また、昨年9月に「自助・共助・公助、そして絆」を政策理念に掲げる菅新政権が誕生しました。菅政権の下、新型コロナウイルスの収束に向けて、効果的な感染拡大防止対策と経済の回復を両立させる政策を実行していただいております。足腰の強い中小・小規模事業者の実現に向けた政策推進が期待される一方、DXをはじめとする改革実行により、中小・小規模事業者自身の経営変革が迫られています。

このような状況の中、中小・小規模事業者は、デジタル化による生産性向上が急務であり、個々の自助努力に加えて、中小企業組合等による企業間の連携強化、共同化・協業化、経営資源の集約化を通じた取組みが重要になっています。

昨年10月22日に茨城県のザ・ヒロサワ・シティ会館にて開催した第72回中小企業団体全国大会では、全国各地から中小企業団体の関係者380名に加え、オンライン配信での多数の参加を得て、新型コロナウイルス感染症及び多発する自然災害からの復興支援を図るとともに、ものづくり支援、取引力の強化や経営基盤の強化支援等の拡充等を決議し、政府・与党、関係機関等に要望をいたしました。

全国中小企業団体中央会は、都道府県中央会とともに「つながる ひろげる 連携の架け橋」のローガンの下、組合が持っている企業同士の「連携力」を大いに発揮し、サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携を構築すべく活動してまいります。

新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立、とりわけ、需要の縮小とそれに伴う倒産と廃業の増加を克服すべく、新分野進出、業態転換、事業転換、事業承継、デジタル化など様々な課題に果敢に挑戦する中小・小規模事業者を全力で応援してまいります。

また、本年は、東日本大震災から10年が経過する節目の年であります。我が国が一丸となって新型コロナウイルス感染症を克服し、東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じて、世界に、災害からの復興と日本の中小・小規模事業者の魅力を発信する絶好の機会となることを願っております。

結びに、本年が中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、安心して事業活動を行う環境が整い、新たな成長への道筋をつける1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和3年元旦

## 年頭所感

株式会社商工組合中央金庫

秋田支店長 清水 剛



明けましておめでとうございます。令和3年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

去年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、わが国の経済社会活動は大きく停滞いたしました。緊急事態宣言による営業活動の自粛や入国制限によるインバウンド需要の蒸発などにより直接的な影響を受けた飲食・宿泊業だけでなく、様々な事業者が広範な影響を受けました。さらに、在宅勤務や時差出勤といった柔軟な働き方への対応など、中小企業の経営は、従前にも増して多様化が求められています。

このような中、私ども商工中金は、危機対応業務をはじめとする円滑な資金繰り支援に全社を挙げて取り組んでまいりました。新型コロナウイルスの影響はまだ予断を許さない状況が続いていますが、新常态と呼ばれる新しい生活様式の定着と産業構造の大きな変革も見据えて、真にお客さま本位で長期的な視点から、今後も中小企業及び中小企業組合の企業価値向上に貢献してまいります。

具体的には、ウィズコロナを見据えた事業転換や新事業への進出、業務のデジタル化、経営改善、事業再生などに取り組む中小企業の皆さまに対する支援を重点的に行ってまいります。接触が難しい中でもオンライン会議などを活用して日ごろからのリレーションを一層強化し、お客さまの経営課題やニーズを深堀してまいります。さらに、地域金融機関や外部専門機関との連携・協業を密に行い、当金庫の特長を生かしたソリューションを提供してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最大限に発揮するため、ダイバーシティの推進等に取り組んでまいります。

さて、昨年10月に秋田支店長として着任したところですが、秋田県の素晴らしさ、県内の皆さまの実行力・団結力、地域経済発展に向けた思いを強く感じております。「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、支店職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。